

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 穴吹医療大学校 学校関係者評価委員会は、令和5年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施致しましたので、ご報告致します。

令和6年9月12日

学校法人穴吹学園 穴吹医療大学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて、穴吹医療大学校の自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、穴吹医療大学校が行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会

(委員)

森川 崇	元香川県立高等学校 校長
植松 陽司	香川県立高松北高等学校 校長(欠席)
橋本 和之	香川県立三本松高等学校 校長
乃村 久信	藤井学園寒川高等学校 校長
森 仁志	香川県保険医協会 副理事長 歯科部会長 医療法人社団審美会 もり矯正歯科医院 院長
土田 佳代	独立行政法人 国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター
横田 昇	株式会社アインファーマシーズ 人事本部 人事部担当部長
富山 清江	公益社団法人 香川県看護協会 会長
丹羽美裕紀	香川県立中央病院 副院長兼看護部長(欠席)
三谷 和美	独立行政法人 地域医療推進機構 りつりん病院 看護部長(欠席)
南原 愛子	社会医療法人財団 大樹会 総合病院 回生病院 副院長兼看護部長
横山 千晶	医療法人 雙和会 クワヤ病院 看護部長
小笠原規子	穴吹医療大学校保護者会 支部長(欠席)
久利 紀子	穴吹医療大学校 卒業生

(学校教職員)

池田 優佳	穴吹医療大学校 校長
奈良 育代	穴吹医療大学校 副校長
中井 里美	穴吹医療大学校 副校長
横井 敦子	穴吹医療大学校 教務部 部長
吉田 展子	穴吹医療大学校 教務部 部長
松本 美称	穴吹医療大学校 教務部 次長(欠席)

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 令和6年9月12日(木) 14:30~16:00

開催場所 学校法人穴吹学園 穴吹医療大学校 602・603教室

4. 自己評価結果の説明・報告(自己評価報告書参照)

当校の令和5年度の在校生動向、資格・検定取得実績、就職状況を報告の上、「教育理念」、「目的」及び「令和5年度の目標と計画」について説明。各自己評価項目について「評価結果(総括)」、と「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について報告。書式は、香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式にて実施。各評価項目について、「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不十分である の4段階にて評価。

5. 意見交換、質疑応答

○新入生数減少に対する募集活動について

18歳人口減少とコロナ禍以降の医療職離れの影響もあり、新入生数が減少傾向にある。また看護学科の国家試験の合格率の低下も要因の一つと考える。また大学進学率の上昇やコロナ禍明けの県外への進学率の増加もある。募集活動としては、学校のホームページやインスタグラム等にも力をいれ取り組んでいる。さらに高専連携の一つとして高校の探究授業に本校教員が年間を通して参加し、指導している。医療に少しでも興味をもつ高校生に対してさらに関心を持ってもらえる機会となればと考える。オープンキャンパスのように本校に来校してもらうのではなく、こちらから高校に来校し、高校生に職業や学校の説明ができる機会をより多く持てるような企画を今後は取り組んでいきたいと説明がなされた。

○休学・退学者数の増加に伴う学生総数の減少について

在校生の多くはコロナ禍の影響を受けた学生が多く、学校生活の過ごし方も従来の学生は異なる。また様々な課題を抱える学生も増加し、学校に登校できず、学習の継続が困難な状況もある。状況に応じた学習スタイルの提案もしている。学校は学生の夢をかなえる場所であり、学生が安心して学べる場所であるための環境づくりにも取り組んでいきたい。多様性の時代と言われ、社会においても人間一人ひとりの個を尊重し、様々な価値観を共有することが求められており、学生のモチベーションを上げるためにもある程度の自由度をもたらす必要がある。それが学生募集にも影響するため、学生一人ひとりに目を向けた指導を継続していきたいと説明がなされた。

本日は貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力して参りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

以 上